

(令和 8 年 2 月 2 5 日)

受付番号	第 2 号 陳情	受理年月日	令和 8 年 2 月 1 7 日
件名	インフルエンザワクチン（フルミスト）助成事業における水平伝播の評価データ開示を求める陳情		
提出者	花巻市南川原町 4 - 1 杉山 綜一	紹介議員	
要 旨			
趣旨 花巻市が令和 7 年度より実施しているインフルエンザワクチン助成事業において、経鼻弱毒生ワクチン「フルミスト」接種後の水平伝播（接種者から周囲へのウイルス拡散）について、市がどのように評価・把握しているかのデータを開示することを求めます。 データの開示が不可能な場合、または評価が行われていない場合は、令和 8 年度以降のフルミストへの助成を中止することを求めます。			
理由			
1 フルミストには水平伝播のリスクがある フルミストは経鼻弱毒生ワクチンであり、接種後一定期間（少なくとも 1 週間程度）、ワクチン由来のウイルスが接種者の鼻腔から排出され、周囲に伝播する可能性が製品添付文書に明記されています。これは不活化ワクチン（注射型）にはない特性です。			
2 フルミストは国内使用開始から極めて歴史が浅い フルミストは令和 6 年（2024 年）10 月に国内での接種が初めて開始されたばかりのワクチンです。花巻市が助成を開始した令和 7 年度は、国内使用開始から 1 年余りしか経過していない時点での導入であり、日本国内における使用実績がほとんど存在しません。			
3 学校休業措置の急増と水平伝播の関係が未検証 岩手県の公開データによれば、令和 7 年度において岩手県内の学級閉鎖・学年閉鎖・学校閉鎖等の学校休業措置件数が前シーズンと比較して大幅に増加しています。			
報道ではインフルエンザウイルスのサブクレード K（H3N2 型、通称：「A 香港型」）の流行が指摘されていますが、花巻市内でどの程度このサブクレード K が流行しているのか			

、またフルミストの水平伝播が地域の感染動向に影響を与えているのかについて、市として実態を把握しているかが不明です。

公衆衛生施策として助成事業を実施する以上、こうした評価・検証が行われているべきですが、その根拠が示されていません。

以上の事実を踏まえ、下記の意見を申し述べます。

(1) 水平伝播の評価データの開示を求めます。

花巻市として、令和7年度のフルミスト助成事業において、接種後の水平伝播がどの程度発生したと評価しているか、その根拠データ及び評価方法を市民に開示してください。

(2) データが存在しない場合はフルミストへの助成中止を求めます。

水平伝播に関する評価データが存在しない場合、または評価が行われていない場合は、公益上の安全性が担保されていないと判断せざるを得ません。令和8年度以降、フルミストを助成対象から除外することを求めます。

付託委員会	文教福祉常任委員会	審査結果	
-------	-----------	------	--